

以下の機種に関しては、それぞれの「Working Folder 複合機連携  
セットアップガイド」を参照してください。

wfs-mfp-installguide-09\_ja.pdf

• ApeosPort-IV C5570/C4470/C3370/C2270

• ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580

wfs-mfp-installguide-11\_ja.pdf

• ApeosPort-V C7775/C6675/C5575/C4475/C3375/C2275

• DocuCentre-V C7775/C6675/C5575/C4475/C3375/C2275

• ApeosPort-V C7780/C6680/C5580

• DocuCentre-V C7780/C6680/C5580



# Working Folder 複合機連携 セットアップガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本書は機械に Working Folder 複合機連携機能をインストールする方法を記載しています。  
インストールする前に、必ず本書をお読みください。  
なお、本書の内容は、お使いの機械の基本的な知識や操作方法を習得されていることを  
前提に説明しています。お使いの機械の基本的な知識や操作方法については、機械に同  
梱されている『管理者ガイド』や『ユーザーズガイド』などのマニュアルをご覧ください。

• Working Folder とは.....	2
• インストールする前に .....	3
• 対象機種.....	3
• ソフトウェアオプションのパスワード設定.....	4
• 環境設定.....	6
• インストール / アンインストールに必要な設定.....	9
• Working Folder 複合機連携機能のインストール手順.....	12
• インストール.....	12
• インストール結果の確認.....	14
• アンインストール / バージョンアップ .....	15

Microsoft、Windows、Internet Explorer は、  
米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
その他の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。  
Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

## ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改題することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。  
万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。  
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品を  
これらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

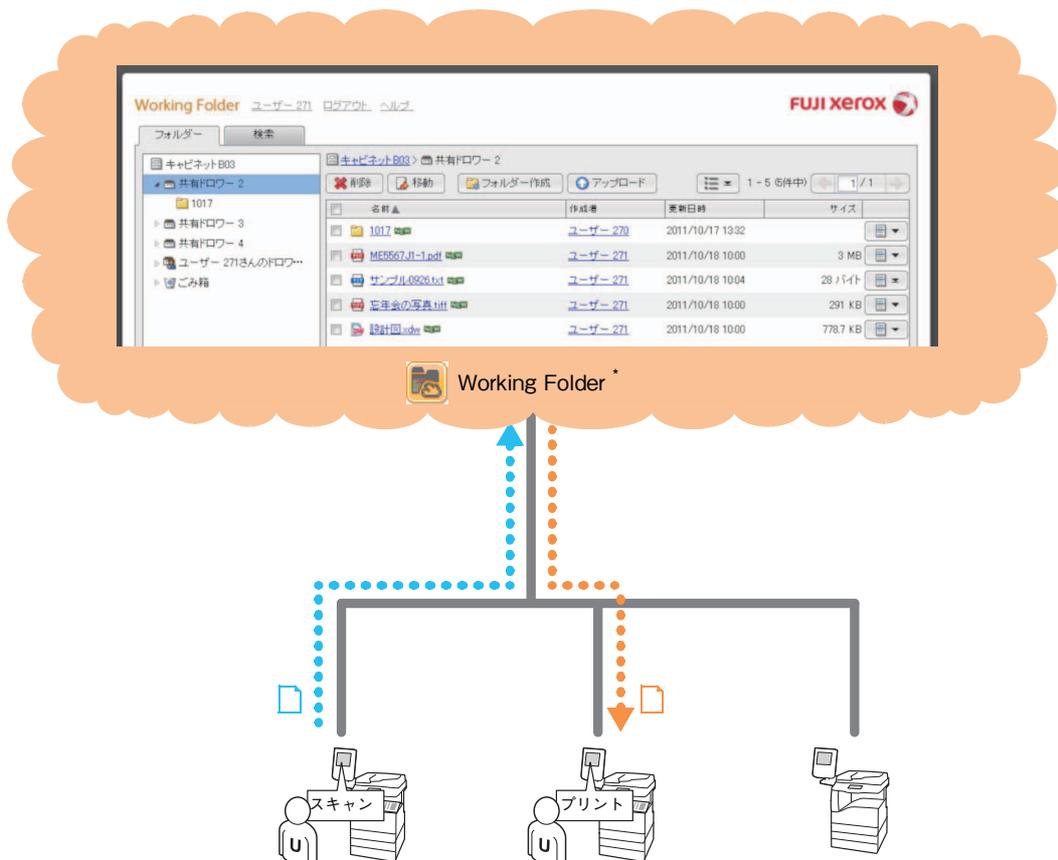
XEROX、そのロゴと“コネクティング・シンボル”のマークおよび CentreWare は、  
米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。  
DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の商標です。

## Working Folder とは

Working Folder は、弊社が提供する記憶領域に、お客様の文書をお預かりするサービスです。Working Folder に対応した機械では、Working Folder に、インターネットを経由してアクセスできます。

Working Folder の DocuWorks、PDF、および TIFF ファイルをプリントしたり、お使いの機械でスキャンしたデータを Working Folder に保存したりできます。

Working Folder の設定と操作については、『Working Folder ユーザーガイド』、『Working Folder 管理者ガイド』、および『Working Folder 管理者ガイド ジョブフロー連携編』をご覧ください。



\* Web ブラウザーで表示した場合の画面です。

## インストールする前に

Working Folder 複合機連携機能をインストールするには、お使いの機械が本機能の対象機種であるかを確認し、あらかじめ機械の環境を設定しておく必要があります。ここでは、その方法を説明します。

### 補足

- 本書に記載している画面は、使用している機械の構成によっては、表示されない項目や使用できない機能があります。

## 対象機種

Working Folder を利用できる機種については、弊社公式サイトを参照してください。URL は [<http://www.fujixerox.co.jp/solution/workingfolder/>] です。

### 補足

- Working Folder トップページで、左側の「動作環境」を選択します。「複合機動作環境」の項目にお使いの機種が表示されているかを確認してください。

Working Folder 複合機連携機能は次の環境で動作します。お使いの機械の環境が条件を満たしていない場合は、必要なオプションを増設してください。

- 内蔵ハードディスク搭載機
- システムメモリー 2GB 以上

お使いの機械の環境を確認する方法は、次のとおりです。

- 1 機械の操作パネルで〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押します。
- 2 [機械状態 レポート出力] タブの [機械構成] を押します。
- 3 [内蔵ハードディスク] の項目が表示されていることと、[システムメモリーサイズ] の項目が 2048MB 以上であることを確認します。
- 4 [閉じる] を押します。
- 5 [閉じる] を押します。

## ソフトウェアオプションのパスワード設定

以下の表に記載された機種では、本機能を有効にするためにソフトウェアオプションのパスワードを設定する必要があります。「ソフトウェアオプションのパスワード設定」(P.4)を参照し、設定してください。

パスワードは、大文字・小文字・記号を組み合わせた13桁で構成されます。お使いの機種のパスワードを確認してください。

機種名	パスワード
ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275 DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275	CNCQUUAVDJFH@
ApeosPort-IV 7080/6080/5080 DocuCentre-IV 7080/6080/5080	ALTMIYNLHILY@
ApeosPort-IV 4070/3070	RBXVJPXUFKNW@

### 補足

- お使いの機械の [仕様設定 / 登録] 画面で、[仕様設定] > [Web ブラウザー設定] が表示される場合は、ソフトウェアオプションのパスワードがすでに設定されています。「環境設定」(P.6)の手順に進んでください。
- 上記の表は、2013年9月現在のものです。対象機種やパスワードは予告なく変更される場合があります。パスワード設定の要否、およびパスワードが不明な場合は、弊社の営業担当者にお尋ねください。

## ソフトウェアオプションのパスワード設定

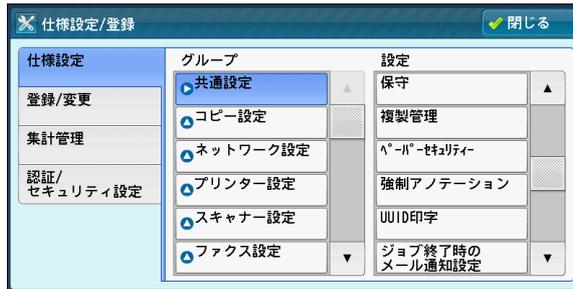
- 1 機械の操作パネルで〈認証〉ボタンを押します。
- 2 〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



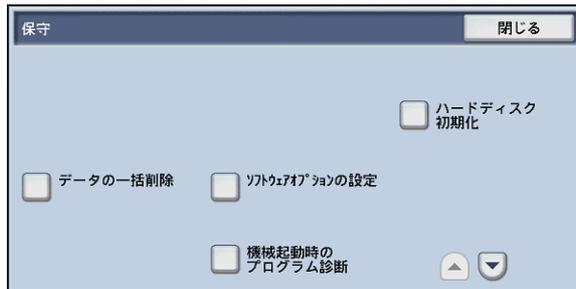
- 3 メニュー画面で、[仕様設定 / 登録] を押します。



- 4 [仕様設定] > [共通設定] > [保守] を選択します。



- 5 [ソフトウェアオプションの設定] を選択します。



- 6 キーボードを使用して、お使いの機種のパスワードを入力します。



- 7 [再起動] を押します。

## 環境設定

Working Folder 複合機連携機能を使用するには、あらかじめお使いの機械に次のことを設定しておく必要があります。

項目	設定内容	参照
SOAP ポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>SOAP ポート：起動</li> <li>ポート番号：80</li> </ul>	「SOAP ポート」(P.7)
プロトコル設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で機械を使用するための設定</li> <li>DNS の設定：DNS サーバーアドレスの設定</li> </ul>	「プロトコル設定」(P.7)
プロキシサーバー設定*	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバー名、ポート番号、ログイン名、パスワードなど、HTTPS 環境で機械を使用するための設定</li> </ul>	「プロキシサーバー設定」(P.8)
Web ブラウザー設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>[外部アクセスバージョンの選択]：[V4 (新バージョン)]</li> <li>[ファイルプリント機能の使用]：[する]</li> <li>[Cookie の使用]：[する]、または [保存を確認する]</li> <li>[TLS1.0 の使用]：[する]</li> <li>[SSL3.0 の使用]：[する]</li> </ul>	「Web ブラウザー設定」(P.8)

\* プロキシ設定が必要なサービスを使う場合は、この項目を設定してください。

### 注記

- お使いの機械の [SSL/TLS 設定] で、[HTTP - SSL/TLS 通信] を [有効] にしている場合、相手サーバーの証明書を検証する設定にしていると本機能を利用できません。[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [セキュリティ設定] > [SSL/TLS 設定] で [相手サーバーの証明書の検証] を [無効] に設定してください。

### 参照

- 各設定項目の詳細については、お使いの機械に同梱されている『管理者ガイド』を参照してください。

各項目の設定は、[仕様設定 / 登録] 画面で行います。

[仕様設定 / 登録] 画面を表示させる手順は次のとおりです。

### 補足

- 本書に記載している画面は、使用している機械の構成によって、表示されない項目や使用できない機能があります。

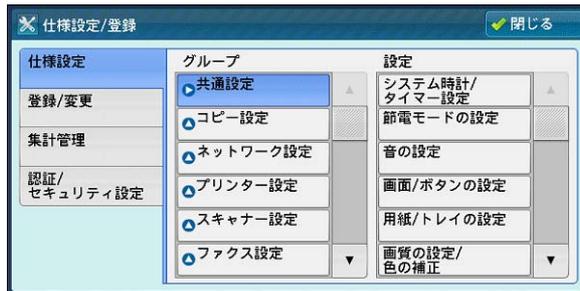
- 1 機械の操作パネルで〈認証〉ボタンを押します。
- 2 〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



- 3** メニュー画面で、[仕様設定 / 登録] を押します。



- 4** 任意の項目を設定します。



**補足**

- 設定値を反映するために再起動が必要な場合があります。画面が表示されたら再起動してください。

## SOAP ポート

- [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] で [SOAP] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 次の項目を設定します。
  - [SOAP - ポート] : [起動]
  - [SOAP - ポート番号] : [80]
- [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- [閉じる] を押します。

## プロトコル設定

- [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で機械を使用するための項目を設定します。
- [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] で、[IPv4 - DNS 設定] または [IPv6 - DNS 設定] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 次の項目を設定します。
  - [DHCP からのアドレス取得] : [しない]
  - [DNS サーバーアドレス] : お使いの DNS サーバーアドレス

**4** [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

**5** [閉じる] を押します。

## プロキシサーバー設定

### 補足

- プロキシ設定が必要なサービスを使う場合は、この項目を設定してください。

**1** [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロキシサーバー設定] で、サーバー名、ポート番号、ログイン名、パスワードなど、HTTPS 環境で機械を使用するための項目を設定します。

**2** [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロキシサーバー設定] で [プロキシを使用しないアドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

**3** [localhost] と入力し、[決定] を押します。

### 補足

- 本機能を使用する場合、[localhost] を削除しないでください。

**4** [閉じる] を押します。

**5** [閉じる] を押します。

## Web ブラウザー設定

**1** [仕様設定] > [Web ブラウザー設定] で [外部アクセスバージョンの選択] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

### 補足

- [Web ブラウザー設定] が表示されない場合は、ソフトウェアオプションのパスワード設定が必要です。詳しくは、「ソフトウェアオプションのパスワード設定」(P.4) を参照してください。

**2** [V4 (新バージョン)] を選択し、[決定] を押します。

**3** [ファイルプリント機能の使用] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

**4** [する] を選択し、[決定] を押します。

**5** [Cookie の使用] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

**6** [する] または、[保存を確認する] を選択し、[決定] を押します。

**7** [TLS1.0 の使用] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

**8** [する] を選択し、[決定] を押します。

**9** [SSL3.0 の使用] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

**10** [する] を選択し、[決定] を押します。

**11** [閉じる] を押します。

**12** [閉じる] を押します。

**13** 設定を変更したときは、本機の電源を切って、入れ直して、本機を再起動します。

## インストール / アンインストールに必要な設定

本機能は、インストールおよびアンインストール時に、ネットワークに接続されたコンピューターとご使用の機械との間で SSL/TLS プロトコルを使用して HTTP 通信を行います。

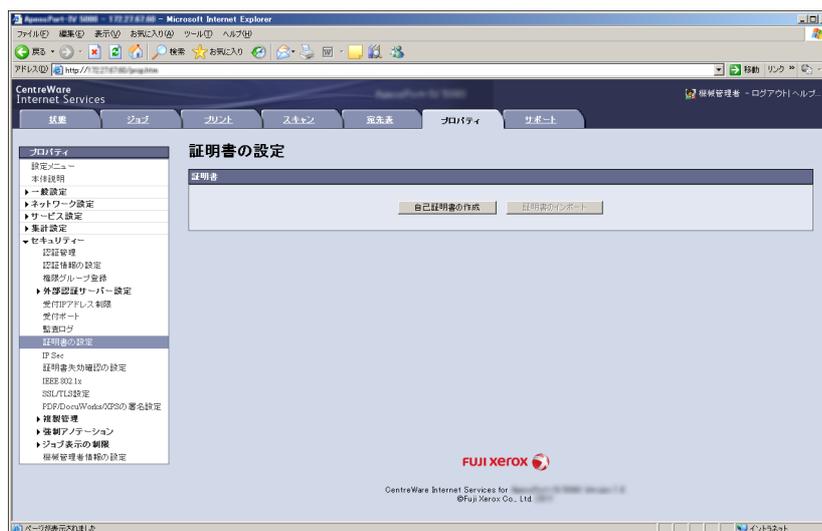
SSL/TLS が有効になっていない場合は、CentreWare Internet Services で以下の設定をしてください。

- 1 ネットワークに接続されたコンピューターで、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄にご使用の機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。CentreWare Internet Services が起動されます。

### 補足

- CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 3 [プロパティ] タブ > [セキュリティ] > [証明書の設定] で、[自己証明書の作成] をクリックします。



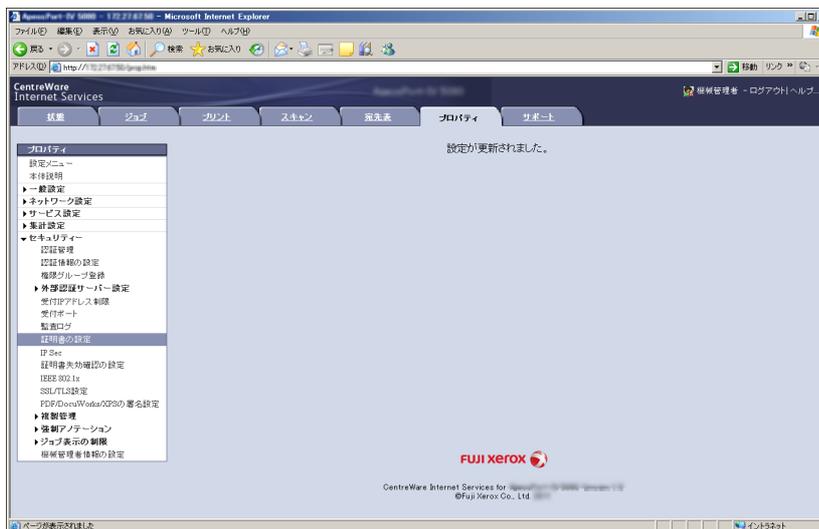
### 補足

- XPS は、XML Paper Specification の略称です。

4 [新しい設定を適用] をクリックします。



5 設定が更新されて次の画面が表示されたら、Web ブラウザーの再読み込みを実行します。

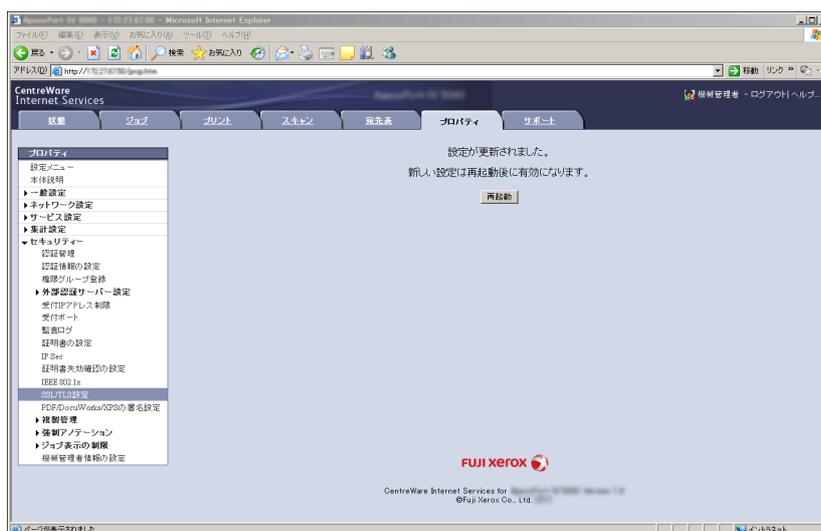


- 6 [プロパティ] タブ > [セキュリティ] > [SSL/TLS 設定] で、[HTTP-SSL/TLS 通信] の [有効] にチェックを付けます。



- 7 [新しい設定を適用] をクリックします。

- 8 Web ブラウザーに、機械の再起動を指示するメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。



- 9 確認画面で [OK] をクリックすると、機械が再起動し、設定した値が反映されます。

## Working Folder 複合機連携機能のインストール手順

本機能を機械にインストールします。インストールが完了したら、本機能が正しく動作するか確認してください。

Working Folder 複合機連携設置ツールの動作環境の確認、およびツールのダウンロードは、弊社公式サイトから行ってください。

URL は [http://www.fujixerox.co.jp/solution/workingfolder/] です。

### 注記

- 日本語・英語・韓国語・中国語（繁体）・タイ語以外の Microsoft® Windows® OS 上では、Working Folder 複合機連携設置ツールの動作は保証できません。

### 補足

- Working Folder トップページで、左側の「ダウンロード」から「関連ツール」を選択します。ダウンロードページが表示されるので、「複合機環境設定関連ツール」から「Working Folder 複合機連携設置ツール」を選択してください。

## インストール

本機能をお使いの機械にインストールします。

### 補足

- 機械の操作中およびジョブ実行中はインストールできません。しばらく待ってからインストールしてください。
- Working Folder 複合機連携機能のインストール中は、機械の操作パネルは使用できません。

インストール手順は次のとおりです。

- 1 お使いのコンピュータで、弊社ダウンロードページから Working Folder 複合機連携設置ツールをダウンロードします。
- 2 ダウンロードした圧縮ファイル (.zip) を解凍し、フォルダー内の exe ファイルをダブルクリックします。

### 補足

- 「[セキュリティの警告] 画面が表示された場合は、[実行] をクリックして続行してください。

- 3 「[次へ]」をクリックします。



**4** 本機能をインストールする機械の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。**補足**

- IPv4 の IP アドレスを入力してください。

例：192.0.2.1

Working Folder Installer - 複合機の指定

複合機の指定  
カスタムサービスをインストールする複合機のIPアドレスまたはホスト名を入力してください。

複合機のIPアドレスまたはホスト名: 192.0.2.1

< 戻る(B)   次へ(N) >   キャンセル   バージョン情報

**5** 機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

Working Folder Installer - 機械管理者情報

機械管理者情報  
複合機の機械管理者のユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名:

パスワード:

< 戻る(B)   次へ(N) >   キャンセル   バージョン情報

**6** [次へ] をクリックします。

Working Folder Installer - 確認

確認  
カスタムサービス[Working Folder]を次の複合機にインストールします。

複合機:192.0.2.1

< 戻る(B)   次へ(N) >   キャンセル   バージョン情報

## 7 [完了] をクリックします。



### 補足

- 完了画面が表示されるまでに、数分かかる場合があります。
- 続けてほかの機械に本機能をインストールする場合は、[ほかの複合機にインストール] にチェックを付けて [完了] をクリックし、手順3～7を繰り返します。

## 8 本機を再起動します。

## 9 CentreWare Internet Services で、[HTTP - SSL/TLS 通信] の [有効] のチェックを外し、無効に戻します。

### 補足

- 設定方法については、「インストール/アンインストールに必要な設定」(P.9)を参照してください。

## インストール結果の確認

インストール結果の確認手順は次のとおりです。

### 1 機械の操作パネルで〈メニュー〉ボタンを押します。

### 2 メニュー画面の [Working Folder] を押します。



### 補足

- [Working Folder] ボタンが表示されない場合は、必要な環境設定が機械に正しく設定されているか確認してください。環境設定については、「環境設定」(P.6)を参照してください。
- 他のカスタムサービスを利用している場合やメニュー画面に表示する機能ボタンの設定を変更している場合、[Working Folder] ボタンが表示されないことがあります。その場合は、[仕様設定] > [共通設定] > [画面 / ボタンの設定] で、[メニュー画面の機能配列] の設定を変更してください。詳しくは、お使いの機械に同梱されている『管理者ガイド』を参照してください。
- 本機の認証方式が [本体認証] または [外部認証] の場合は、認証モードに入ってからボタンを押してください。

- Working Folder のログイン画面が表示されることを確認します。  
この画面が表示された場合は、本機能のインストールが完了しています。

**補足**

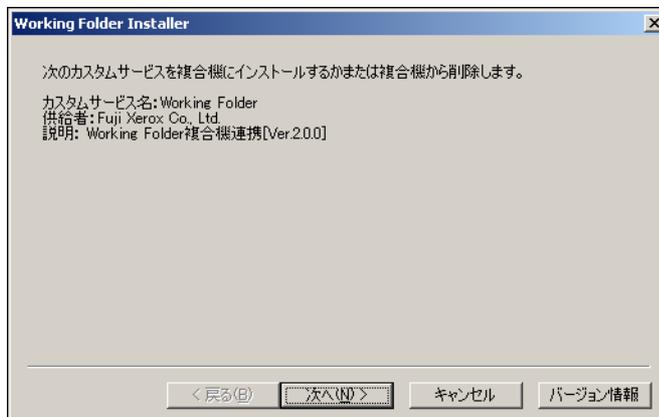
- ログイン画面が表示されない場合は、必要な環境設定が機械に正しく設定されているか確認してください。環境設定については、「環境設定」(P.6) を参照してください。

## アンインストール／バージョンアップ

お使いの機械の本機能をアンインストールまたはバージョンアップします。

アンインストール／バージョンアップ手順は次のとおりです。

- お使いのコンピュータで、Working Folder 複合機連携設置ツールの exe ファイルをダブルクリックします。
- [次へ] をクリックします。



- 3 本機能をアンインストールまたはバージョンアップする機械のIPアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

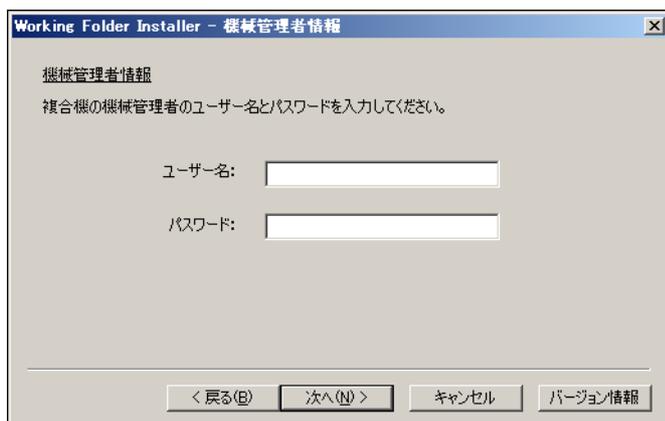
**補足**

- IPv4 の IP アドレスを入力してください。

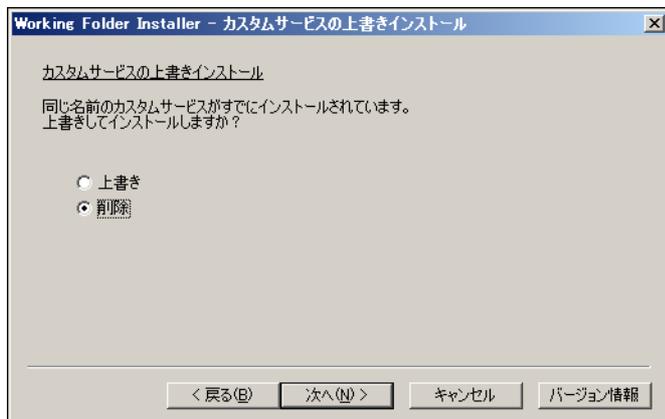
例：192.0.2.1



- 4 機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。



- 5 アンインストールする場合は [削除]、バージョンアップする場合は [上書き] を選択し、[次へ] をクリックします。

**補足**

- [バージョン情報] をクリックすると、Working Folder 複合機連携設置ツールのバージョンが確認できます。なお、Working Folder 複合機連携設置ツールのバージョンは、Working Folder のバージョンとは異なります。

- 6 確認画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

**7** [完了] をクリックします。

**8** 本機を再起動します。

**Working Folder 複合機連携 セットアップガイド**

著作者 – 富士ゼロックス株式会社  
発行者 – 富士ゼロックス株式会社

発行年月 – 2013 年 9 月 第 1 版

(帳票番号 :ME5637J1-5)